

議 事 録

件 名		第2回 町田市下水道ビジョン策定懇談会
日 時		2011年1月19日(水) 10:00～11:20
場 所		成瀬クリーンセンター 新館会議室
出席者 (敬称略)	委 員 *:会長	高千穂 安長委員*、長岡 裕委員、松本 暢子委員、 市古 太郎委員、盛永 久恵委員、松田 英行委員、 石川 旭委員、渡辺 洋委員
	上下水道部	鈴木部長、工務課 福田課長、業務課 石井課長、 水質管理課 細野課長、水再生課 河原課長
	事 務 局	上下水道総務課:小山課長、須原担当課長、川畑係長、 町田主査、保屋野、深川
次 第	1 下水道ビジョン案について 2 今後の懇談会スケジュール 3 処理場の見学(希望者)	
	議 題	
次第 1 下水道ビジョン案について		
報告内容	■下水道ビジョン案(第4章施策展開を除く)について説明を行った。	
意見等	■水使用量の伸びの鈍化の要因はP.2の本文4行目の内容だけか。大口使用者の減少や年齢構成の変化など他にもあるのでは。 →指摘の通り他の要因も考えられることから表現を工夫する。	
	■P.2の4行目「増収策の模索」とは、使用料を値上げするという意味か。 →使用料の値上げも増収策の一つではあるが、ここでは新規の増収策をイメージしている。表現を工夫する。	
	■P.2の下水道の役割に「環境負荷の削減」があるのは違和感がある。また、役割の一つに地下水の涵養といった「水の循環」もあるのでは。 →「環境負荷の削減」は近年、下水道に求められている内容であるため記述したが、指摘の通り環境負荷を減らすために下水道事業を行うわけではないので削除する。また、雨水対策の一環として雨水を地下に浸透させ、結果的に地下水の涵養につながってはいるが、あくまで浸水対策が目的であることからあえて記述していない。	
	■P.3の図1は項目が多すぎるので整理したほうが良い。「町田市下水道の課題」が記述されていれば、「社会状況の変化」や「下水道を取り巻く状況の変化」などの一般論は必要ないのでは。 →指摘通り一般論ではあるが、町田市下水道に影響を与える事項であることから記述している。	
	■P. 4に計画を30年とした理由が記述されているが弱い。一般的に行政計画は10年だと思うが、それよりも長期の計画とした理由は何か。 →多摩地区で唯一処理場を2つも保有していること、処理場のあり方について昨年の外部監査で指摘されたことから、処理場の改築更新等の期間を強く意識して、30年とした。	
	■30年先を見て方向性を定める必要があるという理由を補強する材料として、例えば、30年前や事業開始の50年前はどのような状態だったかを表すのも一つの手だと思う。	
	■全般的に、30年先のビジョンなのに現状に近い将来のことしか書いていない。下水道事業によって30年先にどのような社会を描いているのかを記述する必要があるのでは。	

- P.5の図2に他の計画との関係が示されているが、本計画を都市計画審議会や環境審議会などで議論する予定はあるのか。
→現在、都市計画マスタープランや環境マスタープランの改訂が行われており、それら計画との整合は図りフィードバックさせていることから、それらの審議会での審議は考えていない。
- 冊子の各所で「健全な財政」をうたっていて、P.5のアクションプランの策定目的に「財政見通しを明らかにする」とあるが、どのような内容を想定しているのか。
→アクションプランの策定に着手したばかりで、どの程度のものになるか現時点でははっきり言えないが、これまでの整備優先の考えから経営を意識した財政運営に変えたいと考えている。
- P.7に、町田市の特徴として「単独公共下水道」と「分流式下水道」の2つを挙げているが、その選択をした背景やそれによるメリットのようなものも記述してはどうか。
→検討する。
- P.10に「標準法」や「高度処理」など市民に馴染みのない言葉が書いてあるが、読み手を考えて工夫して欲しい。
- P.11で雨水管は布設延長が短く、今後も事業が必要となっているが、布設延長が短いから管を伸ばすように受け止められてしまう。表現を検討して欲しい。
- P.12で使用料の推移が記述されているが、30年後の推移も検討して欲しい。また、使用料がどの様に使われているかを市民に分かりやすく知らせてはどうか。
→検討したい。
- 使用料を分かりやすく伝えるのに、例えば1Lの水を処理するのにいくらかかるかといった内容にすると、食器の油をとってから洗うことの必要性が伝わりやすいのでは。
- P.13の歳出・歳入の状況について、より詳しく分析する必要があるのでは。
- P.15の起債の状況を見ると、污水管の整備が終わりかけているのに起債が増加しており、財政運営上問題ではないのか。
→指摘の通り、現状良くないと考えているが、一方で、他市の下水道と比較すると町田市の経営は健全であるという結果もある。今後、企業会計を導入し明確にしていきたいと考えている。
- P.19の図5にある施策の順番に意味はあるのか。今後も市街化調整区域を含め污水対策を進めていくということか。
→下水道が果たすべき役割の順番で並べており、施策の優先度で並べているわけではない。市街化調整区域については、手法や優先度は別として污水対策の必要性はあると考えている。
- 基本方針の「災害に強いまちづくり」部分の具体的イメージが見えてこない。下水道も、電気や水道等と並ぶライフラインの一つであり、予防だけでなく、BCP的な視点も取り入れ、生活を早く元に戻すための災害発生後の対応についてもきちんと検討しておいてもらいたい。
- 水をきれいにすることや浸水被害を減らすことは、行政だけで取り組むのではなく、住民にも協力を求めていく必要があるだろう。そういった視点を考えてもらいたい。訴えかける相手としては、子供も含めて考えてもらいたい。
- 時間がかかる事業であることから、経営資源である人材の育成について、計画の中できちんと考えておくことが重要だろう。

次第 2 今後の懇談会スケジュール

- 前回懇談会時に示したスケジュールでは3月開催の予定だったが、2月にも開催しないと間に合わないことから、次回は2/17(木)14:00～16:00でお願いしたい。
第4回懇談会は3/22～25のいずれかを予定しており、今後調整し日程を確定したい。